

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なないろキッズたいない		
○保護者評価実施期間	令和8年2月10日		令和8年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和8年1月16日		令和8年2月2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・生きる力の育成とこどもの育ちの充実を図るため、多様な遊びや集団体験活動、地域交流等を大切にしたいイベントを実施しています。	・土曜日や長期休業日には、昼食やデザートの調理、プール遊び、体育館での運動、図書館等施設や公園へのお出かけ等、楽しいイベントを計画しています。 ・法人内の放課後等デイサービス(3事業所)で、野菜作りや施設見学、体育指導員による体操教室、地域のイベントの参加等を共有し、交流を広げています。 ・読み聞かせや昔語りの体験活動、高等学校や大学の見学、グループホームやデイサービス訪問などを通して、地域の方々と触れ合う機会を設定しています。	・地域のイベントへの参加やボランティア活動等、地域との交流を大切にし、積極的に参加していきます。 ・職員の専門性を生かして、内容を充実させていくようにします。
2	・保護者様とのコミュニケーションを大切にし、学校や関係機関、相談支援専門員等との連携をとって、きめ細やかな対応に努めています。	・年1回の保護者会(講演会)を開催し、保護者様同士の交流が深められる機会を設けています。 ・保護者様からの相談には、面談や電話等で丁寧に対応し、必要に応じて学校や関係機関、相談支援専門員等と連携して情報共有しています。	・保護者様のご要望に応えられるよう、今後も保護者会を開催していきます。 ・お子様と保護者様が一緒に参加できるイベントの開催等、新しい試みも積極的に計画していきます。
3	・お子さまや保護者様の思いや願いをお聴きしながら、個に寄り添った学習支援に努めています。	・必要に応じて学級担任と連絡を取り、家庭学習内容の確認、個に応じた具体的な指導方法に努めています。 ・学習についての不安を受け止め、学習プリントを提供したり、学習の進め方について助言したりしています。	・学級担任と連絡を密にし、今後も個に寄り添った学習支援の充実を図っていきます。 ・個に応じて少しずつできることを増やし、自信をもてるよう働き掛けていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・『こどもの活動等のスペースが十分に確保されている』について、「どちらともいえない」とのご意見をいただきました。	・利用人数が多い時や体を使う遊びの時は、スペースの狭さを感じます。また活動内容の充実には制限がかかる場合があります。施設上の課題ですので、机や道具類の配置等の工夫など、現在できる範囲での対策を講じていく必要があります。	・室内スペースに課題はみられますが、学習や集中できる座学室を有効活用するとともに、活動や遊びの仕方を創意工夫し、魅力ある内容に努めています。 ・長期休業や土曜日は、野外や外部施設に出掛けるなど活動の充実を図るとともに、お子さまが使いやすい空間を設定するために、掲示物や棚の表示、道具等の配置を工夫し、整理整頓に心掛けていきます。
2			
3			